

青森・岩手県境不法投棄現場環境再生・提案書

団体名等	NPO・最終処分場技術システム研究協会		
代表者	花嶋正孝（理事長）	担当者	小谷克己（協会理事）
所在地	東京都港区		

①提案のテーマ：環境調和型リサイクル施設と四季公園の提案

キーワード	循環資源リサイクル施設	自然エネルギーの活用	町おこしと環境教育
テーマ選定の目的・理由 1) 社会インフラの有効活用（「もったいない精神」：3Rの推進を図る） 掘削空間と堰堤と水処理施設を有効に利用して、循環資源リサイクル施設へ改編する。バイオ燃料化施設を設置して、発生熱は保養所等へ利用する。 2) 町おこしをするための集客施設を設ける。（収入源を確保する） 四季を通して集客できる公共四季公園や保養施設、必要により、アクセス道路の整備等も行う。首都圏や東北地方の都市部からの集客がはかれる施設をつくることにより、町おこしを行う。 また、環境教育の場として、県境の大規模不法投棄問題やその対策に取り組んできた環境修復の経過（歴史）をモニュメントとして、次世代に伝える。			

②提案の概要

・跡地利用の内容（全体の仕組み）について

1) 循環資源リサイクル施設

有機性廃棄物のバイオ燃料化を行い、保養施設へ発生熱を供給して有効活用する。保管前洗浄施設により、保管前に水洗浄を行い廃止の促進を行う。

受入廃棄物としては、近隣地区市町村の一般廃棄物や農村の有機性廃棄物等を考えており、持続可能な社会を形成するバイオ燃料化施設を建設する。

また、掘削した空間を利用して、循環資源リサイクル施設を建設する。

世界で初の安定化促進機構付き循環資源リサイクル施設（保管庫）を建設する。

—循環資源リサイクル施設概要—

・バイオ燃料化施設

・被覆型、安定化促進型保管庫 容量：15万m³

・水処理施設 既設の水処理施設（150m³/日）を活用

2) 公園（四季公園、緑地公園、森林公園）

自然環境の復元やリクリエーションの場とする。四季公園については、四季の花木を植栽して、一年を通して楽しめる公園を造る。

例えば、春は桜・菜の花、夏は向日葵・桔梗、秋は薔薇・秋桜、冬はシクラメン・パンジー等である。その他として、緑地と森林の公園を造る。

4) 風力発電・太陽光発電

公園横には、風力発電機を設置する。また、管理棟や環境資料館や中間処理施設の屋根には、太陽光発電パネルを設置する。このように風力や太陽光等の自然エネルギーの活用を最大限に行う。発生した電力は、敷地内の施設へ電源供給することにより、炭酸ガスの削減をはかり、地球温暖化防止に寄与する。

5) 環境資料館

環境学習の場として、現場を活用する。不法投棄現場の写真や実際の不法投棄廃棄物の保存資料を展示しておく。また、風力発電・太陽光発電や循環資源リサイクル施設やバイオ燃料化施設の特徴や施設の構造をDVDで施設紹介する。

「負の遺産を次世代に残さない」ことの意義を学習させる。また、自然環境体験ができるエコツーリズムの場とする。

6) 管理棟

公園の管理をする管理室とエコツアーの方の休憩室や保養施設を収納している。保養施設の中には、サウナ、露天風呂および食事処を設けて、癒しの場をつくる。諸施設見学や四季の花木の観賞に訪れる客の宿泊施設ともする。

・イメージ図は別紙参照ください。

③実施主体（提携、協力主体を含む）

青森県が設立された「青森県田子環境ビジネス公社（仮称）」

{協力主体、NPO法人 最終処分場技術システム研究協会（NPO・LS研）}

④概算事業費（可能であれば記入）

⑤期待される効果

- 1) 町おこしができる。
提案のような集客できる施設の建設と収入がセット
- 2) 安定的な収入源が確保できる。
 - ・一般廃棄物（近隣市町村の生活ごみ）や農村有機廃棄物の受入れ料金の収入
 - ・四季公園等保養施設の販売による収入
- 3) NPO・LS研の支援で循環資源リサイクル施設が安価に建設できる。
また、既存の堰堤や水処理施設等社会インフラが有効に活用できる。
- 4) 省資源・省エネルギーが実現できる。
バイオマスの活用や自然エネルギーの有効利用により、炭酸ガスの削減が可能。
不法投棄跡地において、地球温暖化防止に貢献できる。
- 5) 環境教育の場となり、環境対策が現場体験できる。
廃棄物の適正処理の重要性や不法投棄現場の環境修復対策や莫大なコスト。
- 6) 全国初の不法投棄現場の環境再生の事業モデルとなる。
今日的課題である「全国各地の不法投棄現場での環境再生」モデル地区となる。

⑤その他、特記事項

今回提案した循環資源リサイクル施設は、廃棄物を資源としてリサイクルする施設であり、現有の水処理施設を有効に活用できるエリアに廃棄物を区画保管できるものとする。特徴は、当初から安定化促進設備（ケミカルオキシデーション）を組み込んでおり、早期廃止ができる点で新規性が高く、社会に誇れる世界初の企画である。

施設配置平面図

